



2021年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社ティラド
 代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 宮崎 富夫
 (コード番号 7236 東証第1部)
 問合せ先 取締役 常務執行役員 金井 典夫
 (TEL 03-3373-1101)

2021年3月期 業績予想と実績の差異ならびに特別損失（連結・個別）・繰延税金資産の計上に関するお知らせ

2021年2月8日に公表した業績予想と本日公表の実績につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、2021年3月期の決算において、特別損失（連結・個別）及び繰延税金資産を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

- 2021年3月期通期連結業績予想値と実績の差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純損失	1株当たり 当期純損失
前回発表予想 (A)	113,100	1,200	1,300	△2,300	△317.90
今回実績 (B)	113,046	1,264	1,540	△1,239	△171.62
増減額 (B-A)	△54	64	240	1,061	—
増減率 (%)	△0.1	5.3	18.5	46.1	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	130,524	2,843	2,883	1,435	194.28

- 2021年3月期通期個別業績予想値と実績の差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損失	1株当たり 当期純損失
前回発表予想 (A)	55,300	△1,000	2,300	△1,700	△234.97
今回実績 (B)	56,278	△515	2,934	△679	△94.10
増減額 (B-A)	978	485	634	1,021	—
増減率 (%)	1.8	48.5	27.6	60.1	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	63,484	△602	2,847	2,735	370.12

● 差異の理由

個別業績における営業利益につきましては、海外子会社からの受取ロイヤルティが予想を上回ったこと、及び操業度の改善による原価低減等により、前回予想値を上回りました。当期純損失については、営業利益増加要因に加え、下記「4. 繰延税金資産の計上（連結・個別）」に記載のとおり、法人税等調整額を計上することにより前回予想値より改善しました。連結業績につきましても、上記個別理由により、親会社株主に帰属する当期純損失が前回予想値より改善しました。

2. 特別損失の計上（連結）

当社及び連結子会社2社の保有する固定資産に対して、将来の回収可能性を検討した結果、2021年3月期において減損損失1,274百万円を計上しました。その内訳は、当社111百万円、米国子会社T. RAD North America, Inc. 1,095百万円、チェコ子会社T. RAD Czech s. r. o. 67百万円であります。

3. 特別損失の計上（個別）

連結子会社2社の出資金について投資損失引当金繰入額3,778百万円を計上いたしました。米国子会社T. RAD North America, Inc. については、上記減損損失の計上等にもなう純資産額減少により、2,601百万円、チェコ子会社T. RAD Czech s. r. o. については、過年度からの業績悪化にもなう純資産額減少により、1,177百万円の繰入額を計上したものであります。なお、当該投資損失引当金繰入額は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

4. 繰延税金資産の計上（連結・個別）について

直近の当社業績状況をふまえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の増加額488百万円（連結・個別ともに）を法人税等調整額として計上いたしました。

以上